

令和5年度 事業報告書

公益財団法人富山市ファミリーパーク公社

令和5年度公益財団法人富山市ファミリーパーク公社事業報告

I 概要

「人を元気に、森を元気に、いのちを元気に、地域を元気に」をコンセプトに動物や里山の資源を活用するとともに、呉羽地域等との連携の強化を図り、市民が気軽に訪れ、楽しめる事業の充実を目指した。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、これまでの対策を緩和して各種事業を実施した。一方で、県内での鳥インフルエンザや豚熱の発生により、一部の動物の展示を休止することになった。

ライチョウ保護増殖事業は昨年引き続き、飼育繁殖技術の確立や人材育成を推進した。

また、中部大学、富山市との三者で「生物多様性の保全に関する連携協定」を締結するとともに、生息地でヨウムの保全に取り組んでいるウガンダ野生生物保全センター(UWEC)と生物多様性の保全を目的にMOU(覚書)を締結し、中部大学およびUWECと連携を強化しヨウム繁殖プロジェクトの推進に努めた。

さらに、「富山市SDGs未来都市計画」に関する取組に参画するなど、富山市や地域の各種団体、大学、企業等と連携を図りながら、ファミリーパークを呉羽丘陵における拠点としての多様な活用を推進する事業を進めてきた。

その他、1月1日に発生した能登半島地震において、のとじま臨海公園水族館に甚大な被害が出たため、公益社団法人日本動物園水族館協会(以下、JAZA)より、のとじま臨海公園水族館で飼育しているフンボルトペンギン10羽の緊急避難の協力依頼があり、当園で一時預かりを行い、支援金の募金に協力している。

II 事業報告

1 公益目的事業

実施事業の状況(総括)

動物展示事業では、96種730点(令和6年3月31日現在)の動物飼育展示を行い、日本産動物及び希少野生動物の飼育展示の充実や繁殖技術の確立、並びに日本在来家畜家禽の保存活用に努めた。

地域事業では、8月・9月の連休に合わせて「ナイトズー」を実施し、多くの参加があった。また、呉羽丘陵の魅力を発信することを目的としたフェスタ「悠久の森2023」や、いのちの尊さを普及啓発する「輝け!いのちの集い2023」の開催や様々な関連事業を実施した。さらに、「呉羽丘陵フットパス月いちウォーク」など、団体・企業などと連携した企画を実施し、ファミリーパークの呉羽丘陵における拠点としての役割の充実を図った。

里山事業では、「ホテルと夜とファミリーパーク」を昨年に引き続き事前募集にて開催した。園内に生息する希少種の生息環境の整備を継続して実施しながら、入園者を対象に園内に生息する野生動物の普及啓発の推進に努めた。

(1) 施設管理事業

①入園者の状況について

令和5年度の入園者は237,335人で、前年度比60,342人の減少となった。これは、これまで中止・縮小されていた多様なイベントの再開等により、来園者の多くを占めていた県内及び隣県の人々の行動圏がより遠方、多方面に拡散したこと、夏季の猛暑や週末の天候不順が多かったこと等が影響したと考えられる。このような中で、夏季に開催したナイトズーは、前年を大幅に上回る参加者があった他、様々なイベントの実施や広報活動により集客に努めたものの、今年度の目標入園者数の330,000人には到達しなかった。

施設利用状況

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

区 分		人 数	金 額	前年度実績		
				人 数	金 額	
入 園 者	有 料 エ リ ア	個人・大人	57,744人	28,872,000円	66,837人	33,418,500円
		70歳以上	397人	99,250円	552人	138,000円
		団体・大人	7,891人	3,156,400円	8,124人	3,249,600円
		共通パスポート	17,119人		19,627人	
		有 料 計	83,151人	32,127,650円	95,140人	36,806,100円
		無 料 計	100,931人		119,439人	
		※内、「孫とおでかけ支援事業」利用者	17,171人 組数(5,551組)		21,909人 組数(7,041組)	
		計	184,082人		214,579人	
無 料 エ リ ア 計		53,253人		83,098人		
入 園 者 計		237,335人	32,127,650円	297,677人	36,806,100円	
遊具使用者	子 供 列 車	17,244人	3,448,800円	23,423人	4,684,600円	
	アニマルコースター	14,818人	2,963,600円	12,819人	2,563,800円	
	メリーゴーランド	16,328人	3,265,600円	23,312人	4,662,400円	
	パラトルーパー	23,232人	4,646,400円	34,020人	6,804,000円	
	キャラクターカー	12,901人	2,580,200円	15,978人	3,195,600円	
	ボ ー ト	3,277人	1,310,800円	5,950人	2,380,000円	
	メロディーベット	550人	110,000円	996人	199,200円	
	電 気 周 遊 車	12,425人	1,242,500円	14,034人	1,403,400円	
	遊具使用(有料)計	100,775人	19,567,900円	130,532人	25,893,000円	
	遊具使用(無料)計	2,452人		3,697人		
遊 具 使 用 者 計		103,227人	19,567,900円	134,229人	25,893,000円	
合 計			51,695,550円		62,699,100円	

(2) 動物管理事業

生物の多様性や人と動物の関わり、いのちの大切さを伝えることを目的に、動物の展示および教育普及に努めた。

また、昨年度に引き続き、環境省のライチョウ保護増殖事業に参画し、ライチョウの飼育繁殖技術の向上に努めた。

動物管理事業では、96種730点（令和6年3月31日現在）の動物飼育展示を行い、日本産動物及び希少野生動物の飼育展示の充実や繁殖を推進する。一方で、日本在来家畜家禽の保存活用に努めた。また、令和4年にオープンした熱帯鳥類館「バードピア」では9月にカンムリシロムク、10月にはオキナインコの繁殖に成功した。

飼育動物種数および点数（令和6年3月31日現在）

		種数点数
飼育動物の種数		96種 730点
内 訳	哺乳類	42種 341点
	鳥類	40種 347点
	爬虫類	7種 17点
	両生類	3種 12点
	魚類	4種 13点
	甲殻類	0種 0点
増加動物の種数		29種 132点
減少動物の種数		39種 194点
(公財) 日本動物園水族館協会 血統登録動物の種数		30種 106点

① 飼育展示事業

展示の充実および繁殖に取り組むためにシンリンオオカミ（オス1頭）、ニホンイノシシ（オス1頭）、オーストラリアガマグチヨタカ（オス1羽、メス1羽）、キンクロハジロ（オス2羽、メス2羽）などを他の動物園から搬入した。その他、繁殖したホンドザルやパルマワラビー、フンボルトペンギンで親子展示を行い、いのちの大切さを伝える展示に取り組んだ。また、3月の開園に合わせて、郷土動物館で飼育しているノネズミの展示をより生態が分かりやすいものにリニューアルした。

② 繁殖・研究事業

ホンドザルやホンシュウモモンガなどの日本産動物の継続的な繁殖に努めた。また、特別天然記念物のニホンライチョウや、国際希少野生動物であるフンボルトペンギン、カンムリシロムクなどの繁殖を推進した。さらに、飼育・繁殖にかかわる調査研究によって得られた成果や情報を、JAZAの会議などで発表した他、シンポジウム等でライチョウ保護増殖事業について紹介した。

繁殖を目的とした貸借契約動物

借り受け 動物	<p>【哺乳類】 ユーラシアカワウソ(2)・アムールトラ(1)・ワオキツネザル(1)・グレビーシマウマ(1)・シセンレッサーパンダ(2)・ヒツジ (10)・コモリスザル(2)・アミメキリン(2)・シンリンオオカミ(2)・チンチラ (1)・ミーアキャット(1)・ニホンカモシカ(3)・パルマワラビー (1)・アムールヤマネコ(1)</p> <p>【鳥類】 カンムリシロムク (3)・ルリコンゴウインコ(2)・ミゾゴイ(1)・フンボルトペンギン (10)・ソデグロバト (6)・ヒワコンゴウインコ (1)・アカコンゴウインコ (1)・シロビタイムジオウム (2)・ヨウム (2)・パラワンコクジャク (1)・オーストラリアガマグチヨタカ (1)、メンフクロウ (2)</p> <p>※フンボルトペンギン 10羽はのとじま臨海水族館からの預かり</p> <p style="text-align: right;">26種 62点</p>
貸し出し 動物	<p>【哺乳類】 グレビーシマウマ(2)・ミーアキャット(1)・アミメキリン(1)</p> <p>【鳥類】 フンボルトペンギン(1)・オオタカ(1)</p> <p style="text-align: right;">5種 6点</p>

今年度繁殖した主な動物（令和6年3月31日現在）

動物名	繁殖頭数	完全成育	繁殖区分	繁殖年月日
パルマワラビー	3	2	自然、人工	4/4、9/14、2/6
フンボルトペンギン	3	2	自然、人工	4/18、4/19、3/26
ホンドザル	3	3	自然	4/19、5/2、6/1
ホンシュウジカ	1	0	自然	5/9
ホンシュウモモンガ	6	5	自然	5/24 (3)、5/29 (3)
トウホクノウサギ	4	0	自然	6/15 (4)
ニホンライチョウ	4	1	自然	6/20 (1)、6/21 (3)
カンムリシロムク	1	1	自然	9/18
オキナインコ	2	2	自然	10/22、10/26
合計	27	16		

③教育普及事業

新型コロナウイルス感染症の流行で休止していた子供動物園におけるモルモットのふれあいを、動物福祉に配慮した新たな方法で3月から再開するとともに、キリンやオオカミに餌を与えることができる「動物たちにゴハンをあげよう」や季節に合わせて企画した催物を実施することで、幅広い層の利用者に生物

多様性や人と動物の関係、いのちの大切さを伝えることに努めた。また、「動物なるほど教室」や、小中学校の総合的な学習や大学の課外実習などを受け入れた。

事業名	実施数	参加者数
① どうぶつガイド		
キリンに木の葉をあげよう	97回	2,409名
オオカミにお肉をあげよう	74回	1,411名
② 子供動物園事業		
コンタクトコーナー（動物とのふれあい）	261回	17,854名
動物なるほど教室	17回	945名
③ ごっくんタイム	1,193回	12,285名
④ 催し物事業		
a.春イベント ・「見せたい！伝えたい！動物の魅力」	2回	120名
b.飼育の日 ・特別ガイド「動物園の台所探検ツアー」 ・特別ガイド「キリン舎探検ツアー」	2回 2回	41名 41名
c.ゴールデンウィーク ・ヒツジの毛刈り	3回	400名
d.世界カワウソの日イベント ・絵本の読み聞かせ&ランチトーク ・動物ガイド「知って守ろう！カワウソ」	2回 2回	合計 200名
e.オウム・インコの日イベント ・フライトショー ・シンガーchiko ライブ&トークショー ・キーパートーク	2回 1回 1回	200名 100名 80名
f.ドリームナイト・アット・ズー ・動物解説	1日	480名
g.夏休みイベント ・動物たちにすずしさをプレゼント ・企画展「飼育係に聞いちゃおう」 質問総数 質問と回答展示	12回 30日	156名 43名
h.悠久の森 2023 イベント ・パネル展「発見！呉羽丘陵の動物」	1回	60名
i.ナイトズー（8月、9月） ・動物スポットガイド	4回	4,800名

j.国際レッサーパンダデー ・スペシャルゴックンタイム ・パネル展 ・夜間開園特別動物スポットガイド	3回 3日 2回	74名 — 200名
k.輝け！いのちの集い 2023 ・クイズラリー ・パネル展「食べる」と「食べられる」	1日	147名 124名
l.ツシマヤマネコの日イベント ・パネル展「知って守ろう！ツシマヤマネコ」 ・スペシャルゴックンタイム	24日 2回	— 74名
m.「見て！撮って！知って！ニホンライチョウ」 ・特別ガイド「とって学ぼう！ライチョウのこと」 ・特別展「見逃さないで！ライチョウシャッターチャンス」	3回 33日	70名
n. 冬季開園イベント ・干支ラリー「さがそう！龍を作る動物干支セトラ！」 ・用紙配布 ・記念品交換 ・パネル展「動物たちの越冬術」 ・あったか♡ラブラブ動物たちの恋模様ガイド	54日 54日 54日 59日 3日	5,606枚 3,294個 279名
o. 春イベント「第一回ファミパ動物選挙」 ・選挙ポスター掲示、投票受付 ・推薦人による応援演説会	17日 18回	602名
p. 第39回富山市ファミリーパーク動物写生コンクール ・応募 ・表彰式（特選） ・入賞作品展示	67日 1日 94日	451名 36名 —
q. 第48回動物愛護に関する標語の募集	31日	50名
⑤ 教育事業（実習・研修）		
a.小学校・中学校 校外学習（総合的な学習など） ・14歳の挑戦 ・園内解説「どうぶつえんのじゅうい」 ・園内解説（埼玉県開智小学校） ・園内解説（富山県立富山視覚支援総合学校） ・園内解説（教育センター不登校支援事業） ・園内解説（教育センター適応指導教室） ・園内解説（親子わんぱく教室）	2校 5回 1回 1回 1回 1回 1回	8名 235名 18名 12名 1名 26名 17名

b.その他実習 <ul style="list-style-type: none"> ・富山大学理学部「基礎生物学セミナー」 ・富山国際大学こども育成科学部 ・富山県立大学 ・医療法人社団いずみ会「新卒新人研修」 ・仙台 ECO 動物海洋専門学校 ・園内解説（日本鳥類保護連盟富山県支部） 	1回 1回 1回 1回 1回 1回	13名 94名 14名 13名 5名 12名
⑥ 協賛・共催・協力事業		
a.地域連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・古沢保育所「ファミリーパーク里山自然体験」 ・古沢小学校飼育体験 	2日 2回	28名 16名
b.ジョブキッズ富山「飼育体験」	4回	11名
c.対州馬展 <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展 ・デジタルスタンプラリー 	38日 38日	
d.研究協力 <ul style="list-style-type: none"> ・東京農業大学 「カモシカ眼下腺分泌液に関する研究」 ・岐阜大学 「糞中の食性に関する研究」 ・千葉大学 「生魚食動物の腸内細菌叢に関する研究」 ・富山大学 「ニホンイタチの遺伝子調査に関する研究」 ・鹿児島大学 「ニホンアナグマの糞中細菌に関する研究」 ・環境省 信越自然環境事務所 「ライチョウの捕食動物の糞中 DNA 解析に関する研究」 ・岡山理科大学 「カモシカの毛色の関連遺伝子に関する研究」 ・東京農業大学 「シカの尿中成分に関する研究」 ・富山県立大学 「生態調査の元となる動物の鳴き声データの収録」 		

講演会		
・飼育野生動物栄養研究会		60名
・NPO 法人きんたろう倶楽部令和5年度通常総会 記念講演「富山市ファミリーパークのこれからを考える」		25名
・岐阜大学応用生物科学部 動物園学実験実習/動物フィールド実習 講師 「ライチョウにおける飼育下保全と生息地観察」		40名
・富山県立大学 講師 「立山室堂における野生ライチョウの課題等」		14名
・富山県民生涯学習カレッジ講座 なかよくなろう 富山の自然講座 講師 「風土が育む富山の野生動物～動物と人の在り方を考える～」		30名
・大沢野図書館「親子で楽しむどうぶつ教室」		12名
・とやま竹の祭典 2023 in 呉羽 座談会 講師 「-竹サミット 竹！この愛おしくも悩ましいもの-」		30名
・第8次「とやまのライチョウサポート隊」活動報告会 講演 「富山市ファミリーパークが取り組むライチョウ生息域外保全」		33名
・富山大学理学部「地球生命環境理学」講義 「希少種の保全と人の生活」		140名
・富岩運河の水鳥観察会及び水鳥講座 講師		40名
・令和5年度富山県生物多様性啓発イベント		100名

④在来馬保全活用事業

木曾馬や野間馬、対州馬などの在来馬の展示と保存に努めた。また、高齢化しつつある木曾馬1頭について、今後の保全活用を継続するため種付けを実施したが、受胎には至らなかった。引き続き、在来馬を活用した乗馬やエサやり体験を実施した。

⑤ライチョウ保護増殖事業

今年度は、野生復帰が可能な個体を維持する技術開発として、人工繁殖で野生ライチョウから採取した盲腸の糞凍結乾燥粉末を投与する方法で野外型腸内細菌叢の定着試験を実施した。人工孵卵した6卵のうち4羽の雛が孵化し、1羽のメスが成育し、野外型腸内細菌の定着が確認された。

また、来年度の生息域外保全事業における飼育展示計画及び繁殖計画も策定され、他園での展示夜普及啓発の推進及び繁殖を目的とした4羽の成鳥移動も実施し、現在、ファミリーパークではオス7羽、メス9羽の計16羽を飼育

している。

その他に展示を通して、その生息環境の現状と保全の大切さを伝えるため普及・啓発を行った。

⑥動物福祉の推進

世界的に動物園における動物の福祉向上が課題となっていることから、当園においても動物種や個体ごとに適した飼育環境を整え、動物福祉の向上を図ることが必要となっている。令和5年度は自園で取組みの自己評価を行い、その改善に取り組みながら、継続的な動物福祉の向上に努めた。

(3) 地域事業

①くれは悠久の森事業

「悠久の森実行委員会」(47 団体)に事務局として関わり、地域施設や住民と連携して取り組んだ。

事業名	実施数	参加者数	
① 悠久の森実行委員会 (役員会含む)	4 日	124 名	
② 悠久の森コーディネーター会	4 日	33 名	
③ 悠久の森 2023「森ですごそう」	1 日	1,545 名	
④ くれは悠久の森連携事業 (くれは里山ネット)	春の呉羽丘陵散策 ～花と動物、旬の味覚を 楽しもう～	1 日	31 名
⑤ホクリクサンショウウオ保 全プロジェクト事業	出前授業	10 校	220 名
	生息地調査	8 回	40 名
	生息地整備	1 回	7 名
	サンショウウオの里親	18 日	300 名
合 計		2,300 名	

②輝け！いのちの集い事業

富山市ファミリーパークと「輝けいのち協議会」が主催の「輝け！いのちの集い」といのちに関する講演会を実施した。

事業名	実施日数	参加者数
① 輝けいのち協議会	5 日	40 名
② 輝け！いのちの集い 2023「みんながやけ ひとつひとつのいのち」	1 日	1,371 名
③ いのちの講話～ある中学校の実践～	1 日	17 名
合 計		1,428 名

③ 地域連携事業

地域の関係施設や団体と連携した事業に積極的に取り組んだ。

事業名	実施日数	参加者数
① 富山市立古沢保育所 「ファミリーパーク里山自然体験」	1日	18名
② とやま森の四季彩フォトコンテスト入賞作品展示 (とやま森の四季彩フォト大賞実行委員会)	14日	—
③ 夏休み環境教室「ライチョウに優しいエネルギーを学ぼう！」(共催:(一社)とやま水素エネルギー促進協議会)	1日	19名
④ 呉羽丘陵ウォーク(呉羽丘陵ウォーク実行委員会)	1日	167名
⑤ 富山こども大会 (富山市児童クラブ連絡協議会)	1日	409名
⑥ とやま環境フェア ライチョウに関する展示	2日	—
⑦ 富山県ライチョウサポーター活動報告会	1日	33名
⑧ 富山市立古沢小学校 「ファミリーパーク40周年お祝いプロジェクト」	1日	17名
	合計	663名

④ ボランティア活動支援事業

市民団体や企業による園内でのボランティア活動について、その活動の支援を行った。

団体名	活動名	実施日数	参加者数
① 市民いきもの メイト	総会・運営委員会等	12日	76名
	里山整備活動	8日	39名
	里山教室等イベント従事	12日	43名
	里山教室	6日	139名
② 呉羽丘陵にホテル を呼ぶ会	会合	1日	9名
	会員によるホテル観察会	1日	98名
	ホテルと夜とファミリーパーク 解説	2日	20名
	富山市立古沢小学校3.4年生による カワニナ採集・放流	2日	33名
	生息地整備	2日	4名
③ 富山県ホテルの会	総会	1日	26名
	ホテル普及イベント	1日	80名
	執行部会・役員会等	4日	21名
	研修会	1日	24名

	ヒメボタル調査	14日	15名
④ きんたろう倶楽部	園内竹整備	3日	39名
	呉羽丘陵竹林整備ボランティア	1日	141名
	竹林整備準備・片付け	7日	50名
	きんたろうの森・わくわくの森整備	15日	89名
	イベント準備、従事	4日	32名
	富山県立富山北部高等学校 探究	2日	91名
	総会・記念講演会	1日	25名
⑤ 呉羽丘陵月いちウオーク実行委員会	呉羽丘陵フットパス月いちウオーク	12日	2,016名
	フットパス下見、整備	14日	120名
	会議	10日	56名
⑥ 古沢地区ボランティア	植樹地草刈	3日	13名
⑦ 富山ライオンズクラブ 1R2Z 合同アクティビティ	竹林整備	1日	62名
⑧ 情報産業労働組合連合会ボランティア活動	幼竹伐採作業	1日	41名
⑨ 連合富山富山地域協議会ボランティア活動	花の苗と球根植え付けとゴミ拾い	1日	43名
⑩ シルバー人材センターボランティア活動	駐車場清掃	1日	36名
⑪ 古沢校下	開園前美化ボランティア	1日	79名
		合計	3,560名

⑤ 活性化事業

ゴールデンウィークや冬休みなど時季にあわせた催物を実施した。

	事業名	実施日数	参加者数
①	ファミリーパーク 動物友の会	183 回例会、184 回例会、185 回例会、186 回例会	4日 152名
②	開園記念日 イベント	開園記念日ポストカードプレゼント	1日 1,000名
		里ノ助の一日園長	1日 280名
③	GW イベント	クイズラリー「ファミリーパークでワールドトラベル」	9日 3,716名
④	ドリームナイト・アット・ザ・ズー	7月8日(土) 17時～19時	1日 287名

⑤ ナイトズー (8月、9月)	8月11日(祝)、12日(土) 9月16日(土)、17日(日) 21時まで延長開園	4日	15,304名
	カピバラとかけっこ	4日	2,800名
	里山ガイド「セミの羽化観察会」	2日	550名
⑥ 秋イベント	ファミパでコンサート「動物園 de 謝肉祭」	1日	100名
	野鳥画家神戸宇孝の原画展「BIRD from SKETCHBOOK スケッチブックの中の鳥たち」	26日	—
	神戸宇孝のスケッチトーク	1日	30名
⑦ 冬期開園イベント	スタンプカードで景品プレゼント	83日	414名
	里ノ助のクリスマス会	1日	43名
	干支の缶バッジプレゼント	4日	520名
	お正月遊びコーナー	10日	—
	プラバンでキーホルダーをつくろう	6日	291名
	里ノ助のチョコチョコじゃんけん	3日	325名
⑧ 里ノ助出演	くれは華街道「里ノ助とあそぼう」 (主催：富山北商工会)	1日	20名
	「ポン太満 30歳の誕生日を祝う会」 (主催：富山中央交通安全協会新庄地域支部)	1日	100名
⑨ 春の開園イベント	古沢保育所の園児ご招待	1日	18名
	里ノ助のお出迎え	1日	58名
合 計			26,008名

⑥ 広報活動

ファミリーパーク通信「グルーミング」を発行し、市内全小学生に配布するなど、ファミリーパークに関する各種情報や実施事業の案内などの情報発信に努めた。

イベントに関するリーフレットを市内および近隣市町村の保育所、幼稚園に積極的に配布した他、新たに高齢者向けの広報媒体に広告を掲載するなどし、ファミリーパークの魅力や事業内容をより多くの方に周知することに努めた。また、毎週ラジオ出演するなど雑誌や新聞、テレビ、SNS等の媒体での広報に努めた。

インターネットを用いた広報としては、公式ホームページ、フェイスブック、X(旧ツイッター)、インスタグラム、ユーチューブ、ラインの運用を行った。

ファミリーパークのホームページのアクセス数は 838,558 件となった。また、フェイスブック、X（旧ツイッター）、インスタグラムはそれぞれ 665 回の更新を行い、ユーチューブでは 110,534 回の再生回数があった。

このほか、富山市広報課を通じて 88 件の報道リリースを行い、新聞、テレビ、ラジオなどの取材に積極的に対応した。

主な報道リリース

期 日	タ イ ト ル
4 月 7 日	ツシマヤマネコの展示公開について
4 月 10 日	飼育の日イベントについて
4 月 14 日	「わたしの出会ったライチョウ」フォトコンテスト作品募集について
4 月 16 日	シンリンオオカミの死亡について
4 月 26 日	開園記念日と GW イベントについて
5 月 29 日	グレビーシマウマの死亡について
6 月 14 日	オウムインコデーのイベントについて
6 月 14 日	ホテルと夜とファミリーパーク 2023 について
6 月 21 日	ニホンライチョウの孵化について
8 月 1 日	延長開園ナイトズーについて
8 月 22 日	悠久の森 2023 について
9 月 14 日	アミメキリンの死亡について
9 月 25 日	輝け！いのちの集い 2023 について
10 月 2 日	シンリンオオカミの搬入について
11 月 22 日	動物たちの寒さ対策について
11 月 29 日	ライチョウ基金シンポジウム 2024 の開催について
1 月 22 日	ニホンライチョウの移動について
2 月 7 日	希少種保全基金講演について
3 月 11 日	春の開園について

(4) 里山事業

①里山保全管理・整備研究事業

ホテルのおやどや湿地帯の管理を行ない、ホテルなどの水生生物の生息環境の保全に努めた。また、市民いきものメイトと共に絶滅危惧種であるホクリクサンショウウオの産卵地の整備・維持に努めた。

自然散策路の整備を行ったほか、団体やボランティアと共に二次林に侵出したモウソウチクやコナラ植樹地林内の藪の除伐を行い、自然植生の保護と復元に努めた。

②里山活用事業

園内に生息する野鳥、昆虫、草花など、季節ごとの見どころを「自然だより」で園内掲示し情報発信した。新たに、里山展示「感じて楽しむ身近な自然」の設置し、見る・触るなど五感で自然の楽しさを体験してもらい、年度内に2回のリニューアルをしたほか、季節ごとに一部更新をおこなった。隔月で里山ガイドを実施し、ドングリやカブトムシなどのテーマを決めて自然について深く楽しく知る機会をつくった。また、保育所や小学校には自然を活用した体験や観察で身の周りの環境に目を向け、学びにつながるきっかけづくりをした。

また、「呉羽丘陵月いちウォーク」の実施を通して、呉羽丘陵フットパスの利用を推進するとともに、ファミリーパークの呉羽丘陵の活動拠点としての機能の強化に努めた。

事業名	実施日数	参加者数
① ムササビ村 観察モニター	常設展示	—
② 野鳥観察舎 情報展示	常設展示	—
③ 園内自然散策路「自然だより」	常設展示	—
④ 「ホテルと夜とファミリーパーク 2023」	2日	1,245名
⑤ 里山ガイド	12日	192名
⑥ 「感じて楽しむ身近な自然」ガイド	3日	47名
⑦ 開智小学校(埼玉県) 園内解説	1日	18名
⑧ 富山市立古沢保育所 「ファミリーパーク里山自然体験」	1日	18名
⑨ 呉羽丘陵月いちウォーク	12日	2,016名
	合計	3,536名

2 収益事業等

前年度末から開始した国際フェアトレード認証を受けたコーヒードリップバッグ（国際希少野生動植物9種のオリジナルデザイン）と、国際希少野生動植物種であるヨウムをデザインしたオリジナルタオルハンカチの販売を促進し、売り上げの一部は希少動物保全基金に寄付することとした。また、カフェムーの商品陳列場所のリニューアルを行い、利便性と収益の向上に努めた。

(1) 売店・食堂等

事業名	実施日数	数
① 移動販売車（悠々ワゴン）でのアイスクリーム販売	20日	2,245個
② オリジナル「雷鳥サブレ」の販売	—	2,900枚
③ オリジナル「タオルハンカチ ヨウム」の販売	5/21～	147枚
④ フェアトレードコーヒー「ハッピーアニマルコーヒー」	—	2,129個
⑤ ナイトズー「牛乳パックランタン作り」	4日	350名

(2) ホースライド事業

事業名	実施日数	参加者
① 在来馬を活用した事業		
ゆらゆら乗馬（木曾馬）	178日	3,055名
障害者乗馬会 「障がいのある方のための乗馬会」	2日	8名
② ナイト乗馬（8、9月）	4日	64名
③ エサやり体験	344日	43,894名

売店・食堂等売上状況

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

施設名		売上高	前年度実績	床面積・卓数・脚数
販 店	売			
	きりん食堂	5,077,090円	5,071,130円	109.87㎡
	かふえムー	8,415,838円	8,961,577円	55.00㎡
	2店計	13,492,928円	14,032,707円	164.87㎡
売 場	食			
	きりん食堂	3,580,620円	3,345,260円	309.13㎡ 11卓 26脚
	かふえムー	8,925,000円	8,913,420円	250.00㎡ 17卓 36脚
	2店計	12,505,620円	12,258,680円	559.13㎡ 27卓 62脚
入 入	悠々ワゴン	561,250円	775,900円	
	出店等	5,367,117円	3,059,608円	
	ホースライド	6,849,400円	8,226,600円	ゆらゆら乗馬、人参販売
そ の 他 の 収 入	ベビーカー使用料	395,100円	467,700円	60台
	バーベキュー使用料	1,977,300円	693,100円	ガス:10人掛×1卓・8人掛×9卓 炭:10人掛×5卓・4人掛×6卓 計 156脚
	自動販売機手数料	2,265,242円	2,532,949円	
	その他	1,230,839円	1,390,655円	移動販売手数料、バッテリーカー等
事業収入		44,644,796円	43,437,899円	
雑収入		488,500円	16,000円	
合計		45,133,296円	43,453,899円	

3 開園 40 周年記念事業の推進

昭和 59 年に開園した富山市ファミリーパークは、令和 6 年に開園 40 周年を迎えることから、40 周年記念事業の企画等を検討し、富山市と協議を進めた。

また、開園 40 周年記念事業のプレイベントとしてライチョウを題材としたフォトコンテストの作品募集を行い、開園 40 周年に向けた気運を高めた。一般部門の応募総数は 363 点、ジュニア部門の応募総数は 35 点であり、それぞれの部門の作品から「富山市長賞」、「富山市ファミリーパーク園長賞」、「審査員賞（戸塚学賞）」入選を選考した。

その他、春の開園に合わせて、園内に開園 40 周年記念のフラッグや看板の設置を行った。

4 ライチョウ基金事業

ライチョウの保全を目的として平成 29 年に設立した本基金を有効に活用し、JAZA が実施する「ライチョウの飼育繁殖技術の確立」に必要な支援や人材育成事業やシンポジウムの開催をとおして普及啓発を推進した。また、基金事業の継続のためにライチョウ飼育園館に募金箱などの設置を行った。

(1) ライチョウ基金運営委員会の開催について

5 月にライチョウ基金運営委員会を開催し、次の事項を審議し承認された。

- ① 令和 4 年度事業報告および収支決算報告
- ② 令和 5 年度事業計画および収支予算

(2) JAZA が取り組む「ライチョウの飼育繁殖技術の確立」への支援

環境省の「ライチョウ保護増殖事業」において JAZA の取り組む生息域外保全で飼育繁殖技術の確立を目指した以下のことについて支援した。

- ① 飼育繁殖技術の確立を目指した大学との共同調査研究。
- ② 野生復帰に資する飼育下集団をつくるための飼育繁殖技術の確立に向けた技術開発。

(3) 人材育成事業

生息域外保全と生息域内保全の連携体制の強化を目的とし、野生復帰事業のための中央アルプスにおけるケージ保護にライチョウ飼育園館職員の派遣を支援した。

(4) ライチョウ基金シンポジウム 2024 の開催

令和 6 年 1 月 21 日、ボルファートとやまにて、ライチョウ保全の普及啓発について考えるライチョウ基金シンポジウム 2024 「ライチョウを守る！見て、知って、伝えよう」を開催し、188 名の参加者があった。

5 希少動物保全基金事業

希少種の保全に関する技術開発および人材育成を目的として設立した基金を有効に活用し、希少動物の飼育、繁殖技術開発および人材育成に取り組み、永続的な生物多様性の保全を目的とした公益事業を推進した。

また、中部大学、富山市との三者で「生物多様性の保全に関する連携協定」を締結するとともに、生息地でヨウムの保全に取り組んでいるウガンダ野生生物保全教育センター (UWEC) と生物多様性の保全を目的に MOU (覚書) を締結し、中部大学および UWEC と連携を強化しヨウム繁殖プロジェクトの推進に努めた。

(1) ヨウム繁殖プロジェクト事業

令和4年から飼育展示を開始した絶滅危惧種であるヨウムについて、野生復帰を想定したヨウムの飼育下繁殖技術の確立を目指し、研究者ら共同で「ヨウム繁殖プロジェクト」を立ち上げ、中部大学（応用生物学部：牛田教授）らが行き組む、JICA 草の根技術協力事業「ウガンダ共和国絶滅危惧種ヨウム保全の地域連携モデルケース構築支援」（2021～2025 年）との連携を開始した。8 月には当園の職員がウガンダを訪問し、自然環境下でのヨウムの観察や現地の関係機関との協議などを行った。また、11 月には UWEC の職員が当園を訪れ、飼育繁殖技術の研修や情報交換を行った。

①野生復帰を想定した繁殖技術の確立について

以下の内容を実施した。また、本年度の成果としては飼育している 2 羽の雌のヨウムで交尾は確認されていないが、産卵は確認された。

- ・群れまたはペア形成の技術開発。
- ・糞中の繁殖ホルモン及びストレスホルモン測定の分析(連携事業)。
- ・飼育下繁殖技術の推進を目的としたワーキンググループ会議の開催。
- ・ウガンダ野生生物保全教育センターとの関係構築のための視察

②普及啓発活動

親子、こどもを対象としたイベントと大人を対象とした講演会を開催した。

- ・オウム・インコの日イベント

日程 令和5年6月18日(日)

内容	回数	参加者
・フライトショー	2回	200名
・シンガーchiko ライブ&トークショー	1回	100名
・キーパートーク	1回	80名

・ヨウム講演会

日程 第1回 令和5年12月3日(日)

第2回 令和6年2月11日(日)

	講師	演題	参加者数
第1回	楠田哲士氏(岐阜大学) 青山三菜(ファミリーパーク職員)	ヨウムの飼育下繁殖の取 り組み	39名
第2回	牛田一成氏(中部大学 ヨウム繁殖 プロジェクト共同研究者) 森大輔(ファミリーパーク職員)	ウガンダ共和国における ヨウムの保全について	40名

(2) ホクリクサンショウウオ保全プロジェクト事業

ホクリクサンショウウオの保全活動を強化するため、生息域内、生息域外で連携した保全活動をプロジェクト事業として開始した。

①生息域内保全

園内の生息地の調査と、将来、繁殖池となる可能性のある場所の試し掘り
をし、水量などの調査を継続している。

②生息域外保全

園内の野生個体を導入し、飼育下繁殖の技術確立に取り組んでいる。

③普及啓発

ガイドや生体展示を通して、普及啓発活動をおこなった。また、令和6
年3月20日にファミリーパークのホクリクサンショウウオの保全の取組み
を紹介する希少動物保全基金ガイド「ホクリクサンショウウオを守るた
めに」を開催し、24名の参加があった。

(3) 基金の周知

基金の目的を広く、市民・県民・国民に周知し、基金への寄附を募っていく
ためパンフレットを作成し、配布した。また、寄付金贈呈式を執り行った。

6 公益財団法人富山市ファミリーパーク公社役員について

(令和6年3月31日現在)

(1) 評議員会

評議員	久 郷 慎 治	里山倶楽部理事長
評議員	澤 野 重 雄	富山市建設部公園緑地課長
評議員	城 岡 真	富山市ファミリーパーク動物友の会会長
評議員	田 畑 裕 二	元富山西ライオンズクラブ会長
評議員	中 川 美彩緒	前富山県水墨美術館長
評議員	長谷川 敏 博	古沢地区自治振興会会長
評議員	廣 本 幸 雄	市民いきものメイト会長
評議員	山 森 豊	富山市建設部次長

(2) 理事会

理事長	美濃部 雄 人	富山市副市長
常務理事	中 田 信 夫	富山市ファミリーパーク公社
理事	今 井 壽 子	花街道薬膳のまちを夢みる会理事長
理事	鏡 森 定 信	前きんたろう倶楽部理事長
理事	狩 野 雅 人	富山市建設部長
理事	北 森 正 誠	呉羽地域連合自治振興会会長
理事	中 村 勇	富山市北商工会呉羽支部長
理事	安 井 俊 夫	輝けいのち協議会会長
監事	大 場 一 成	呉羽ハイツ支配人
監事	高 畠 利 明	富山市会計管理者

7 理事会等議決事項について

(1) 理事会 令和5年4月1日開催 (決議の省略)

- ・常務理事の選定について

(2) 理事会 令和5年5月19日開催

- ・令和5年度一般会計補正予算について
- ・令和4年度希少動物保全基金事業報告について
- ・令和4年度希少動物保全基金収支決算について
- ・令和4年度事業報告について
- ・令和4年度収支決算について
- ・定時評議員会の招集について

(3) 評議員会 令和5年6月5日開催

- ・令和4年度貸借対照表、正味財産増減計算書並びに付属明細書及び財産目録の承認の件について
- ・評議員の選任の件について
- ・理事及び監事の選任の件について

(4) 理事会 令和6年2月16日開催 (決議の省略)

- ・一般会計補正予算について
- ・会計規程の一部改正について

(5) 理事会 令和6年3月27日開催

- ・令和6年度事業計画について
- ・令和6年度収支予算について

8 基本財産等の管理について

(1) 基本財産 30,000,000 円

- ① 三井住友信託銀行 10,000,000 円
預入期間 令和4年4月21日～令和9年4月21日
- ② なのはな農業協同組合 10,000,000 円
預入期間 令和5年4月21日～令和10年4月21日
- ③ みずほ信託銀行 10,000,000 円
預入期間 令和5年4月27日～令和10年4月27日

(2) 定期預金及び投資有価証券 97,784,855 円

(定期預金)

- ① 北陸銀行 10,000,000 円
預入期間 令和5年10月23日～令和6年10月23日
- ② 北陸銀行 5,538,000 円
預入期間 令和5年10月23日～令和6年10月23日
- ③ 富山第一銀行 10,000,000 円
預入期間 令和5年10月19日～令和6年10月21日
- ④ 富山信用金庫 10,000,000 円
預入期間 令和5年10月19日～令和6年10月19日
- ⑤ 富山市農協 10,000,000 円
預入期間 令和5年4月10日～令和6年4月10日
- ⑥ 新湊信用金庫 10,000,000 円
預入期間 令和5年3月31日～令和6年3月31日
- ⑦ 富山県信用組合 10,000,000 円
預入期間 令和5年5月19日～令和6年5月19日
- ⑧ 北陸労働金庫 5,538,000 円
預入期間 令和5年5月15日～令和6年5月15日
- ⑨ 北陸銀行 6,708,855 円
預入期間 令和6年3月27日～令和7年3月27日

(投資有価証券)

- ① 大阪府公募公債 20,000,000 円
保有期間 平成30年1月30日～令和10年1月28日